



つなぐ手 気仙

学校教育目標
かしこく（本気）
やさしく（優気）
たくましく（元気）

6年生を送る会 感謝と激励

2月25日（金）、「6年生を送る会」を開きました。新執行部最初の大きな行事です。各学年から、6年生への感謝の発表がなされ、6年生からは後輩への激励がありました。心温まる送る会となりました。

【1年生】



感謝の言葉と「おしりたんてい」のダンス。かわいさ爆発でした。

【2・3年生】



「伝言ゲーム」この人は誰？右の絵が伝言に使われた1作品です。ヒントは気仙小の先生。さあ誰でしょう。6年生と一緒に楽しみました。



【4年生】



6年生一人一人のすごいところを発表しました。その頭文字を合わせると・・・『これからもがんばってね！』

【5年生】



さわって当てようゲーム。6年生9名それぞれにちなんだ物を段ボールに入れ、触っただけで当ててもらいます。見事全問正解。エンターテイナーな5年でした。

【6年生】



「とても小さかった自分たちが、今ではこんなことができるようになったよ。だから、後輩たちも頑張るね。」元気づけられる激励でした。

気仙町の光たれ ～気仙小のけんか七夕太鼓伝承への思い～



2月24日（木）4年生の総合的な学習で、「気仙小学校でけんか七夕太鼓の活動を行うことになったきっかけと思い」を調べました。4年生担任の吉田先生が、気仙小学校6年生の時（今から38年前！）に始めたとのことで、当時の担任の佐藤卓先生（現・岩手町教育委員会教育長）と電話でつないで話をしました。その話によると、けんか七夕太鼓に取り組むことにした理由は

- 1 気仙町という地域に誇りをもって欲しいと思った
- 2 子どもたちに気仙町を盛り上げて欲しかった
- 3 太鼓演奏を通して、仲間と心をつなげる経験をして欲しかった

ということです。まさに、今の気仙小学校が伝承活動を続けている意味もそこにあると思います。思いはつながってるのですね。気仙小学校と長部小学校が統合して9年になります。この気仙町けんか七夕太鼓と長部大漁唄い込み乗付唄。気小の2大郷土芸能伝承活動として今後もずっと続けていきたいです。

佐藤先生が最後に言った言葉が耳に強く残っています。「子どもたちには気仙町を照らす光となって欲しい」 その思いを忘れずに頑張ってください。



オンラインでつながる私たちの思い ～6年生矢作小とのオンライン授業～

2月18日（金）6年生が、「地元の魅力を発信する」をテーマに、矢作小学校5・6年生とオンラインで互いに地元の魅力を発表し合いました。新型コロナウイルス対策のため、オンラインでの交流です。それぞれの学校に配られているタブレットを活用しての取り組みです。設定には苦労しましたが、本番は大成功。互いの想いを伝え合うことができました。共通するのは、豊かな自然と地元ならではの取り組み（郷土芸能や産業）そして復興への思いでした。これをきっかけに、様々なところとつながっていきたく思います。



新型コロナウイルス
対策を徹底しよう



岩手県の新型コロナウイルス感染の拡大が止まりません。気仙地区も増える傾向にあるようです。そこで、学校として、さらなる感染対策をとることにしました。

- ・原則として、校内で異学年が集まる行動はしない。（児童集会、縦割班清掃、2学年合同体育の中止）
- ・校内に入る前のマスク着用の徹底
- ・その他通常の感染対策のさらなる徹底

各家庭におきましても、風邪症状やPCR検査等ありましたら、すぐに学校へお知らせ下さい。

8	火	つなぐ手集会
11	金	東日本大震災<黙祷>
17	木	修了式
18	金	卒業式
24	木	離任式